



市民に愛されるこだわりの緑茶

6月中旬、女化町にある澤田茶園では、鮮やかな緑色が一面に広がる広大なお茶畑で新茶の茶摘みが行われていました。摘採機によって、またたく間に摘み取られた新芽は、次々と敷地内の製茶所へ運ばれて行きます。澤田臣男さわだのおみおさんが作る新茶は「かぶせ茶」と言われる珍しい栽培方法



で、摘み取りの1週間前から黒いシートを被せ、遮光することで色味を良くし、甘みの強いお茶へと仕上げるそうです。『シートをかかける作業は一番大変だけど、お客さんからお客さんから「美味しかったよ!」「また来たよ!」などの声を聞くときとやりがいを感じるよ」と笑顔の澤田さん。「これからもお茶本来の美味しさを伝えるため、日々勉強して、より良いものを作っていくたい!」と話します。皆さんもぜひ、牛久産の新茶を味わってみてはいかがでしょうか。

牛久の農業を華やかに

初夏の市内で見かけるフリルがきれいな花、「グラジオラス」をご存知ですか？



グラジオラスは、すらりと伸びた花穂と剣のような硬い葉が特徴で、カラフルで華やかな姿から、夏のアレンジメントや切り花として

て近年人気急上昇の品種です。市内でも、ここ数年、若手の生産者を中心に作付に力を入れていきます。

7月中旬、これから最盛期を迎えるグラジオラスと共に、J A 水郷つくばの池田正代表理事組合長らが市長を訪れ、花きのPRと各農産物の情勢などについて報告しました。グラジオラスの花言

葉は「戦いと愛情」。

ぜひご家庭に飾って、新型コロナウイルス感染症に負けない強い気持ちで、この厳しい夏を乗り切りましょう。



まの話題 USHIKU NEWS

応援の気持ちでチケット代を寄付

牛久第二中学校混声合唱団コンサート応援実行委員会

5月6日に予定していた牛久第一中学校混声合唱団コンサートが感染症拡大防止のため中止となり、チケットの払戻しがされなかった収益金17万1209円が、主催者である牛久第一中学校混声合唱団コンサート応援実行委員会から牛久一中混声合唱団へ寄付されました。実行委員長は、「地域の方々の中に一中の素晴らしい歌声を届けられるよう、今後とも支援していきたい」と話しました。



動画「はじめこの離乳食」を公開

USHIKU野菜オーケストラが教えるよ

動画は離乳食づくりについて、調理器具の準備から食べさせ方まで、4本立てで牛久市公式YouTubeチャンネルにて公開中。ぜひ楽しみながらお役立てください。



▲かわいいパペットは市職員手作り

しぜん大好き

アブラゼミ(油蟬)

カメムシ目ゼミ科



7月下旬ごろから、里山の雑木林をはじめ、果樹園や公園などでふつうにみられるゼミで、土の中から出てきた幼虫は夜に羽化します。写真は羽化直後のため白っぽい色をしています。体が固まると「油を塗ったような茶色の羽になります。また、「ジー、ジリジリ」という鳴き声は「油で揚げたような音」に例えられ、鳴き声から暑さを連想する人も多いと思います。成虫の寿命は1カ月程度と言われ、暑さの納まる9月下旬にはほとんど姿を見かけなくなります。実は長寿の昆虫で、幼虫は土の中で6〜7年かけて成長します。

日本遺産 牛久市と甲州市が「ワイン文化日本遺産協議会」を設立しました

7月16日、「日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和文化的結晶～」で日本遺産に認定された牛久市と甲州市の2市が、今後の一体的な事業の展開を図るため「ワイン文化日本遺産協議会」を設立しました。

調印式は牛久シャトー本館2階で行われ、根本牛久市長と、鈴木幹夫甲州市長とで、両市が今後、人的・経済的交流をより一層充実させることを確認しました。

今後は両市の特産品を使用した新商品の開発、子ども向け冊子制作や、観光ガイドなどの人材育成を展開していく予定です。

根本市長は「両市には日本人に合うすばらしいワイン文化がある。その歴史を学びながら、新しい歴史を作っていく」と話し、鈴木甲州市長は「牛久シャトーのような建物が残る牛久は素敵なまちです。日本ワインの原点がある両市を多くの人たちに知ってもらいたい」と話しました。



1 協定の調印
2 調印式の前に甲州市長に牛久シャトーを案内
3 牛久シャトー本館前で記念撮影



自分らしく輝く人を紹介します ✨

うしく、うしく。 04

社会人野球部に所属する萩原さんは、結婚を機に牛久市に移住してきました。現在は、仕事の傍ら野球部の練習に励んでいます。今回は個人練習でよく使われているという牛久運動公園について語っていただきました。



最後に、「住み始めたばかりなので、運動公園だけでなく、いろいろな牛久のいいところを見つけていきたい」とお話ししていました。



はぎわら ゆうだい
萩原 由大
さん

社会人でも
スポーツしやすいまち

「今後の目標は、都市対抗野球大会に出場して東京ドームで試合をすること。新型コロナウイルスの影響でチーム練習が6月まで停止していたため、8月下旬から北関東代表枠を決める予選会に向けて急ピッチで仕上げています。」



さらに詳しいインタビューの内容はシティプロモーションサイトで。他にも自分らしく暮らしている人たちを紹介しています。